

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
いじらためいけ 伊自良ため池		やまがたしながたき 岐阜県山県市長滝	
貯水量	受益面積	堤高	堤頂長
540千m ³	118ha	18m	126m

ため池の紹介文

伊自良ため池は「伊自良湖」とも呼ばれ、地域の農地を開拓するため昭和33年の調査に始まり昭和44年の完成まで長い年月をかけ築造されたため池です。現在は農業用水として必要不可欠であることはもちろん、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬はワカサギ釣りと一年を通して様々な姿が見られることから、地元住民や観光客で賑わっており、地域の重要な憩いの場としても欠かせないものとなっています。

伊自良ため池の近隣の神社には、鎌倉時代末期の武将、楠木正成（くすのきまさしげ）の妻のものとおされるお墓があります。大変夫婦仲が良かったという言い伝えがあることから、伊自良ため池は平成28年に、NPO法人地域活性化支援センターが手がける「恋人の聖地」として認定されました。今後はカップルや夫婦などのシンボリックな存在となることも期待されています。

自然豊かな山あいにある伊自良ため池ですが、過去にはコクチバスやブルーギルなどの特定外来生物の繁殖が問題化したため、平成18年度に地域住民などが主体となり特定外来生物の駆除作業を行っています。

平成27年度から実施されている堤体の耐震補強工事の落水に合わせ、約10年ぶりに特定外来生物の駆除作業を行いました。特定外来生物はほとんど確認されず、伊自良ため池が良好な自然環境を維持していることが確認されています。

また、駆除作業時には地元の小学生（伊自良北小と伊自良南小の児童85名）を対象に「ため池見学会」を開催し、工事の概要や池に棲む生物の多様な生態系などを学んでいただき、改めて伊自良ため池について理解を深めていただくことができました。

今後も地域住民の手で維持管理や環境保護活動を継続し、大切な農業用水の確保と地域の憩いの場という2つの役割を守っていきます。

ため池の写真



伊自良ため池



ため池見学会